

学校だより

(校長室から)



【1年生のまち探検(鴨島公園)】



【3年生にんじんの収穫体験】

久保さんとの交流

4年生は、総合的な学習の時間に「互いのちがいやよさを認め合おう」をテーマに学習をしています。5月17日には、あいぼーと徳島から久保さんをお招きし、交流をしました。久保さんは脳性小児麻痺により、体を動かすことに関わる障がいがありますが、とても明るく気さくな方で、自分の経験や思いを子供たちに分かりやすく伝えてくださいました。



小さい頃、親元を離れて養護学校で寮生活を送っていたため、近所の友達ができず、成人式の時にさみしい思いをしたことを話されました。親と暮らせること、近所に友達がいることが当たり前と思っていた子供たちには、そのありがたさが伝わったようでした。また、障がい者用駐車スペースが広い理由や、点字ブロック上に自転車などを置いてはいけない理由などを、画像を使って教えてくれたので、子供たちもとても納得していました。

子供たちの感想を見てみると、大の阪神ファンであることや、ギャグ6連発を見て、親近感を持つと同時に、障がいの有無にかかわらず人として同じなんだということを感じていました。また、障がいのある人との関わり方を実践にいかしたいと思ったこと、久保さんの言った「障がいは不便であるけれど不幸ではない」という言葉が心に残ったことなどが綴られていました。

交流をした音楽室や教室までの移動は、久保さんの手を取り、寄り添って歩く姿も見られました。この後もう一度交流することを楽しみにしているようでした。



スクールガードのみなさんとの対面式

5月25日に4年ぶりとなるスクールガードのみなさんとの対面式を行いました。現時点では、スクールガードとして登録してくださっているのは全部で24名です。平成12年から子供たちの見守りを続けてくださっている方や、ほぼ毎日立ってくださっている方もいます。子供たちを思う気持ちに頭の下がる思いです。



対面式に先立って、図書室で情報交換を行いました。その中で注意喚起がありました。歩道橋を渡って通学している子は、渡り終えた後、歩道を歩くために学校の南側道路を横断します。この道は通勤や送迎の車通りが多く、保護者の皆様に立哨をお願いしています。ここに停止線が引かれているのですが、子供の流れが途切れているときに停止線より前に出て右折のタイミングを待っていた車が、自転車通学生に道を譲ろうとバックした時に、後ろを横断していた子に接触しそうなことがあるそうです。幸い事故にはなりませんでした。ヒヤリとしたそうです。車の直前や直後の横断は危険を伴うので、歩行者も立哨者も気をつけなければならないこととして、皆様にもお伝えさせていただきました。

